



帝国ホテル

2025 年（令和 7 年）11 月 5 日

「第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025」に協賛 本館 1 階「The Rendez-Vous AWA」を 選手及び大会関係者専用のラウンジとして提供

株式会社帝国ホテルは、第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025 に協賛し、帝国ホテル 東京 本館 1 階 の「The Rendez-Vous AWA」を、大会期間中、選手及び大会関係者専用のラウンジとして提供するとともに、社内で手話言語に関する社内啓発活動も実施しております。



第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025 は、2025 年 11 月 15 日（土）から 26 日（水）までの 12 日間開催されます。（サッカーは 2025 年 11 月 14 日（金）より実施します。）東京都、福島県、静岡県で競技が行われ、帝国ホテル 東京が位置する日比谷では、日比谷公園および周辺エリアを会場としてオリエンテーリング競技が行われます。

株式会社帝国ホテルではこの大会に協賛し、帝国ホテル 東京 本館 1 階 の「The Rendez-Vous AWA」を、大会期間中、選手及び大会関係者専用のラウンジとして提供。10 時から 16 時まで、ソフトドリンクを提供するほか、さをり織りや絵画などのパラアートの展示、さらに伐採した樹木を再利用した東京 2025 デフリンピック大会エンブレム入りコースターの配布を行います。ホテルの接客スタッフは大会期間中、水引で作成した東京 2025 デフリンピック大会エンブレムカラーのブローチを着用し、来館されるみなさまをお迎えいたします。

また、心のバリアフリーを推進し、多様性への理解を深めるための社内啓発活動として、デフスポーツや手話言語、ろう文化について学ぶ「国際手話」の解説動画を制作し、社内向けに配信しています。

なお、パラアートの展示やオリジナルコースターの制作にあたっては、三井不動産レジデンシャル株式会社の協力をいただいております。

大会期間中、帝国ホテル 東京で実施する取り組みは次の通りです。

●帝国ホテル 東京「The Rendez-Vous AWA」を選手及び大会関係者専用ラウンジとして提供

時 間： 10:00～16:00 ※17:00 から通常営業を行います

利用対象： 選手及び大会関係者

内 容： ・ソフトドリンクの提供
・さをり織り（写真左）、パラアート（写真右）の展示
・東京 2025 デフリンピック大会エンブレム入りコースターの配布



さをり織り

布を裂いて緯糸にする「裂き織り」の技法と、均一なルールにとらわれず自由に織ることを特徴とする手織りの手法「さをり織り」を組み合わせ制作したアートを展示いたします。さをり織りは、多くの障がい者就労支援施設でも制作されており、今回展示するさをり織りアートは、スポーツの大会で廃棄される予定だった幟やフラッグ、ユニフォームを回収し、川崎市にある NPO 法人 studio FLAT が織り上げたサステナブルな反物です。このほか、本館地下 1 階の帝国ホテルアーケード内に「さをり織り機」を展示いたします。

東京 2025 デフリンピック大会エンブレム入りコースター

株式会社帝国ホテルの協力企業である三井不動産レジデンシャル株式会社では、これまで再利用が困難であった同社プロジェクトの計画地内に存在した既存の樹木等をアップサイクルし、新たな付加価値創出をする取り組みを行っています。今回はその一環として、ラウンジという場所と相性の良いコースターを、三井不動産レジデンシャル株式会社にて製作し、株式会社帝国ホテルにて東京 2025 デフリンピック大会エンブレムを入れて「The Rendez-Vous AWA」に立ち寄った選手及び大会関係者の方へ配布いたします。

●接客スタッフが大会エンブレムカラーのオリジナル水引ブローチを着用

大会期間中、帝国ホテル 東京では、接客スタッフが従業員による手作りのオリジナル水引ブローチを着用いたします。水引は東京 2025 デフリンピック大会エンブレムの多様性を表す4色（赤・青・黄・緑）を使用しており、紐を引いて結ぶことから「人と人を結ぶ」想いが込められてい



ます。“日本文化の継承”として、これまでもイベント開催時にスタッフ自らが手作りした水引ブローチを着用してきたことから、今回も水引を用いておもてなしの意を表します。また、デフリンピックのような国際大会には、国やチームの垣根を越えてピンバッジなどを交換し合う「バッジ交換」という文化があります。この水引ブローチが、その素敵な文化のように、選手、大会関係者、スタッフとの温かな交流のきっかけとなることを願っております。

●社内啓発のための「国際手話」解説動画を制作

デフスポーツや手話言語、ろう文化等に対する社員の理解を高めるため、「国際手話」の解説動画を数本制作し、社内向けの配信を実施しています。日本語対応手話の解説動画を定期的に発信している取り組みの一環として社内の手話サークル部のメンバーを交えて制作した「デフリンピック特別編」を配信しております。

●ろう者向け備品の充実

帝国ホテル 東京では、フロントに筆談用タブレットをご用意しているほか、客室用貸出備品としてシルウォッチ（腕時計型信号受信機）を備えております。